

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	現入居者の中で、カムさあでの看取りを希望されている方が大半であるため、この項目について今後も継続的な課題とする。	ご本人・ご家族の意向をくみ取り看取り介護の実践に努める。また、主治医との連携を深め、安心できる看取り介護になるよう努力すると共に、職員の不安の無いよう看取り介護・急変時の対応を学ぶ機会を多く設ける。	①看取り看護の振り返り、ならびにデスカンファレンスを行い、不安点・問題点・課題の抽出を行い、課題に向けた取り組みを明確にする。 ②主治医・ご家族の意見を取り入れた看取り介護になるように話し合いの場を多く設ける	2ヶ月
2	6	同時に訴えが重なる場合、入居者に対して十分な時間をさいて対応ができないことがある。そのため、言葉がけが不十分であったり、ケア方針が統一できておらず、入居者の立場に立ったケアが出来ない時があることが課題と考える。	入居者が安心して生活できるように心がけ、どの時間帯でも安定した対応ができる。入居者の人権に配慮した生活の継続性を支援する。	①入居者の立場に立ち、言葉に隠された気持ちの理解をする ②入居者の行動分析をする ③研修会を開催する	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。